

# 下野市立吉田東小学校

## 1 学校課題

(1) 研究主題 「コミュニケーション能力向上を目指した深い学び合い」  
～児童が熱中し、深まる話し合い活動～

(2) 主題設定の理由

本校の子どもたちは、課題に素直に取り組み、学習態度はとてもまじめである。また、読書好きの児童が多く、積極的に本を読んでいる。しかし反面、「話す」「聞く」「書く」など、自分の考えを表現することに苦手意識を持っている児童が多い。また、自分の考えを伝えることや課題を追究することへの意欲が低い。自分の考えを言語化し伝えることに抵抗があるために、学習に対し受動的になっていると考えられる。そこで、昨年度より、「深まりのある話し合い活動」を充実させる取組をしてきた。今年度も、それらを効果的に活用する取組を続けることにより、児童の学習意欲と表現力が高まり、コミュニケーション能力が向上すると期待し、本主題を設定した。



6年 外国語「I like my town」

## 2 研究計画

(1) 研究の仮説

A めあて・ゴールの明確化

授業において、明確なめあてやゴールを示すことで、目的意識を持って発言し、深まりのある話し合い活動になるのではないかと。

B 児童が夢中になる課題と話し合い活動の場面の設定

各教科において、課題の与え方を工夫し、話し合いの場を設定する。これにより、児童全員が積極的に自分の考えを述べ、多様な考えのもと深まりのある話し合い活動が展開するのではないだろうか。

C 個と個をつなぐ教師のコーディネート力

児童同士が、スムーズに意見のキャッチボールができるように、教師のコーディネートスキルを高める。これにより、児童同士が主体的に意見を交わし、深まりのある話し合い活動ができるようになるのではないかと。

(2) 各教科での取組

- 明確なめあて、ゴールの設定と提示、振り返りの充実（授業計画シートの活用）
- 意欲的に問題解決が図れる課題の設定
- 児童同士の発言をつなぐ教師のコーディネート力の向上
- 学習形態の工夫（グループ、ペア、全体、異学年など）による学び合い活動の活性化
- 基本的話型の指導徹底（系統的な積み重ねを図る。）
- 各教科における研究授業、授業研究会での成果と課題の継承と改善
- 児童の学びを深める手立てや方法の研究
- 学力向上応援団、推進リーダーとの連携



4年 国語「だれもが関わり合えるように」

(3) 日常での取組

- 毎週1回「ことばタイム」を実施（語彙力をつける。）
- 基本話型を生かし、相手に分かりやすく説明できるようにする指導支援。
- 朝の会での、1分間スピーチの充実（テーマの工夫、発達段階に応じた話型）
- 書く力の向上（作文、道徳ノートの活用とふり返し）
- 良好な人間関係の構築（学業指導の充実）

### 3 研究内容

(1) 授業研究の概略

日程	学年	教科	単元名	外部アドバイザー
7/17 (火)	6年	外国語	「I like my town」 【下野市小中学校英語研修】	下野市教育委員会指導主事 稲葉亜希恵先生 下野市教育委員会指導主事 岡本直美先生
10/1 (月)	4年	国語	「だれもが関わり合えるように」(飛び込み授業)【S&Uコラボ】	宇都宮大学附属小学校教諭 八巻修先生 下野市教育委員会指導主事 田澤孝一先生
10/17 (水)	1年	国語	「うみのかくれんぼ」 【S&Uコラボ】	宇都宮大学附属小学校教諭 八巻修先生 下野市教育委員会指導主事 岡本直美先生
10/29 (月)	3年	国語	「修飾語」 【学力向上応援団派遣事業】	学力向上応援団専門委員 綱川浄恵先生 下野市教育委員会指導主事 星野友保先生
11/12 (月)	2年	国語	「あったらいいな、こんなもの」 【S&Uコラボ】	宇都宮大学附属小学校教諭 八巻修先生 下野市教育委員会指導主事 岡本直美先生
11/21 (水)	5年	算数	「割合」 【学力向上応援団派遣事業】	学力向上応援団専門委員 綱川浄恵先生 下野市教育委員会指導主事 稲葉亜希恵先生

### 4 本年度の成果と課題

(成果)

- ・授業計画シートを活用し、めあてとゴール、授業全体の流れを明確にした。これにより、教師自身がぶれずに授業を進めることができ、児童もゴールを目指し、自分自身で根気よく考え、意欲的に問題解決に取り組むことができた。
- ・身近なことを学習課題にするなど、課題設定を工夫した。これにより、児童の意欲が高まり、熱中して話し合う姿が見られた。自分の考えを積極的に伝えようとする児童が増えてきた。
- ・児童の考えをより深めるため、児童の意見をうまくつなぎ、コーディネートしていこうとする教師の意識が高まった。
- ・学力向上推進リーダーと相談しながら、単元の流れや教材などを考えることができた。また、自分の授業を公開することへの抵抗感がなくなってきた。



1年 国語「うみのかくれんぼ」

(課題)

- ・授業の有効な場面で話し合い活動を取り入れてきたが、深まらずに終わることもあった。より深まりのある話し合いができるよう、さらに課題や教材、学習形態を工夫していきたい。
- ・児童の発言をつなぐ教師のコーディネート力を、さらに付けていきたい。
- ・児童の自分の考えを伝えたいという思いは高まってきたが、語彙力については、さらに継続的に指導をしていく必要がある。現状を見直し、改善していきたい。



5年 算数「割合」

